

活動レポート

技術交流研究会

文責：技術交流研究会幹事長 吉野大仁

第 119 回 研究会報告

第 119 回技術交流研究会は、平成 22 年 3 月 4 日(木)に㈱ドーコン新札幌ビル 3F 会議室で開催されました。毎年 3 月開催の研究会は年度末で参加者が少ないことから、今回は自然災害に関するビデオを見ながらのディスカッションとしました。以下に、その内容を掲載します。

■ 第 119 回 研究会概要

テーマ：「近年の自然災害について考える」

まず最初に、『20 世紀日本の地震災害(財団法人日本気象協会)』のビデオを視聴しました。

このビデオには、1891 年(明治 24 年)に発生した濃尾地震から 1923 年(大正 12 年)関東地震(関東大震災)、1943 年(昭和 18 年)鳥取地震、1968 年(昭和 43 年)十勝沖地震、1984 年(昭和 59 年)長野西部地震、そして 1995 年(平成 7 年)兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)など 20 世紀に発生した 17 の地震についての記録映像が収録されていました。

我が国ではこの 100 年間に 17 回、5.8 年に 1 度の割合で大きな地震に見舞われてきたこととなります。

次のビデオは、『2004 年 自然災害の記録(企画：国土交通省・河川局 製作：NHK エンタープライズ)』でした。

2004 年(平成 16 年)の自然災害は、7 月 12 日の新潟・福島豪雨に始まりました。この日新潟市では 1 日に 420 mm の降水量を観測しました。

次は台風です。この年には 29 個の台風が発生しており、そのうちのなんと 10 個が我が国に上陸しました。これは、例年の 3 倍以上の数です。なかでも台風 18 号は、北海道において最大瞬間風速 51 m/s とこれまでの記録を更新し、国道 229 号では大森大橋が落橋するという被害を受けました。

そして台風シーズンが終わる頃の 10 月 23 日に

は M6.8 直下型の新潟県中越地震が発生し、新潟県川口町では震度 7 を記録しました。

さらに年末の 12 月 26 日には、M9.3 というスマトラ島沖地震と津波が発生したのです。

これだけ多くの風水害、そして地震が発生したのが 2004 年(平成 16 年)だったのです。

「備えあれば憂いなし」ということわざがありますが、これにはその前段があり「安らかな今日にあって危うき明日を思う、その危うい時のことを思えば、それに処する備えが出来、**その備えが出来ると心配もなくなる。**」ということだそうです。安らかな今日にしっかりと準備をしておくことが大切です。

【幹事より】

技術交流研究会は、6 月、9 月、12 月の第一木曜日の午後 3 時 00 分から開催しています。しかし、第 121 回の開催予定日である 9 月 2 日(木)は土木学会の全国大会が札幌で開催されているため、1 週間ずらして 9 月 9 日(木)に開催を予定しております。

内容が決まりましたら、HP と EPO でお知らせしますので、会員・非会員にかかわらずご参加下さい。

また、技術交流研究会では、会員を随時募集しております。(社)日本技術士会の会員であれば、どなたでも入会できます。入会を希望される方、研究会に出席を希望される方は、(社)日本技術士会北海道支部事務局(出村)までご連絡ください。